学校番号	３１０

平成 31 年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校美術３　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・手馴れている画材を扱い続けるのではなく、普段ではあまり使わない素材や技法に触れることによって、作品制作をする中で新たな可能性を発見する喜びを会得してもらいます。
・普段とは違う表現の方法が、制作をする上での気付きを深めます。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	作品制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワーク制作の様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品	制作途中の作品 提出作品	ワークシート 発言内容 鑑賞プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術の形	【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション ・内面を映し出す。美術における心理テスト。	○				a: 多様な美術の表現に関心を持って楽しみ、これからの学習に意欲を高めているか。	学習活動の様子
	そっくり☆ベジタブル	【絵画・彫刻】【彫塑】 ・食べ物のデッサン ・デッサンを見て、粘土で食べ物をそっくりに作り上げる。	○		○	○	a:作りたいと思えるモチーフを設定できているか。 デッサンを綿密に描こうとして、次の制作に繋げようとしているか。 c:作ろうとしている食べ物の特徴をうまく掴んでいるか。 d:どこを工夫したららしさが出るのか分析できているか。	制作の様子 作品 発言 鑑賞プリント
	スクラッチボード	【絵画・彫刻】 ・テーマに合わせて下書きをする。 ・スクラッチボードにニードルで絵を描く。 ・プレゼンテーション	○	○	○	○	a:新しい表現技法を楽しんで試行錯誤しているか。 b:残す部分と掘る部分の違いを理解した構図作りが出来ているか。 c:新しい表現技法を理解してその特徴をうまく作品に生かそうとしているか。 d:他者の作品に感想を述べる事で、作品を批評する力を見る。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 作品 発言 鑑賞プリント
2学期	年賀状を作る	【絵画・彫刻】【デザイン】 ・木版画の下書きを考える。 ・トレーシングペーパーでトレースして反対にし、カーボン紙で転写して彫る。 ・刷る。	○	○	○	○	a:木版画の制作に興味を持って作品作りに挑んでいるか。 b: 木版ならではの味わいを感じられる、年賀状に良い影響を与える作品作りか。 c:彫り方と刷り具合を調節した作品作りを目指しているか。 d:他者の作品を楽しむ姿勢が出来ているか。 自分の作品の良さを存分にアピールすることが出来ているか。又、その姿勢はあるか。	アイデアスケッチ 制作の様子 作品 発言 鑑賞プリント

	家を建てる	【絵画・彫刻】【デザイン】 ・画材は木片チップのみ。 ・ロケーションは自由とし、その場にあった家を建てる。	○	○	○	○	a:制作に興味を持って作品制作に挑んでいる。 b:ロケーションやテーマが良く構成されている。 c:定められた画材の能力をよく理解し、制作する為の持ち味として作品に取り入れる事が出来ているか。 d:作品のテーマを理解し、他者の作品を楽しむ姿勢が出来ているか。 自分の作品の良さを存分にアピールすることが出来ているか。又、その姿勢はあるか。	アイデアスケッチ 作品 鑑賞プリント
3学期	似顔絵	【絵画・彫刻】【デザイン】 ・ペアを組んでお互いの顔のパーツのスケッチをする。 ・そのパーツをきりとって顔の配置を決めて張る。 ・作ったものを見ながら本番の制作を40分間で行う。 【鑑賞】 作品を全て並べて、全員で見比べる。 似ているか、どこが似ているのか、似せるためのポイントなどを発表する。	○	○	○	○	a:課題制作に没頭して、作品作りに喜びを感じているか。 b:顔の配置を計算し、似るように丁寧に観察してスケッチ出来ているか。 c:似せるための工夫があるか。 d:作品を楽しむ姿勢があるか。 発表を聞いて作品を理解し、適格に批評することが出来ているか。	

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。